

教員おすすめ図書コーナー推薦書

教員氏名	
鈴木 耕太郎 先生	おすすめメッセージ
<p>① 図書名：『誰かの理想を生きられはしない——とり残された者のためのトランスジェンダー史』</p> <p>著者：吉野 鞆</p> <p>出版社：青土社 ISBN：9784791773138</p>	<p>「生まれながらの身体の性別とココロの性別が違う？ それって「性同一性障害」でしょ？」</p> <p>あまり知られていませんが、性同一性障害とは「トランスジェンダー」と称される状態にある人たちの一部を指しています。</p> <p>筆者は、テレビで取り上げられる典型的な「性同一性障害」者像と、「トランスジェンダー」当事者との違いやズレ、そして、それを起因とする当事者の困難や苦悩、理不尽な現実を明らかにしていきます。</p> <p>序文から読者を引きこむ巧みな文章力にも注目して欲しい一冊です。</p>
<p>② 図書名：ネットロア——ウェブ時代の「ハナシ」の伝承</p> <p>著者：伊藤 龍平</p> <p>出版社：青弓社 ISBN：9784787233981</p>	<p>「くねくね」「八尺様」「きさらぎ駅」——2000年代に花開いたインターネット文化のなかでも、2ちゃんねる（現・5ちゃんねる）をはじめとするネット掲示板では、時折、さまざまなネット版・都市伝説、怖い話、噂話が語られ、広まっていきました。</p> <p>本書はネット経由のこうした話を「ネットロア」と称し、それらがどのように人々へと伝わり、定着していったのかを解き明かすものです。</p> <p>民俗学・国文学における「世間話」研究の新たな道を切り拓いた注目すべき一冊です。あなたも、ネットロアを研究してみたいはいかがでしょうか？</p>
<p>③ 図書名：日本評伝選『折口信夫——神性を拡張する復活の喜び』</p> <p>著者：斎藤 英喜</p> <p>出版社：ミネルヴァ書房 ISBN：9784623085170</p>	<p>折口信夫（おりくち・しのぶ）。</p> <p>歌人・釈超空としても知られるこの人物は、日本民俗学の祖・柳田國男の門下でありながら、師とは異なる民俗学の方向性を打ち出した、日本民俗学の「巨人」の一人です。</p> <p>本書は、国文学（日本文学）者、民俗学者、歌人としての折口に、新たな一面があったことを明らかにしています。それは「神道学者」としての折口でした。彼は日本の神と人々との関係をどう考えていたのか、既存の神道や日本の宗教をどのようなものとして考えていたのか。内容も切り口もマニアックながら読みやすい文章の一冊です。</p>